

2016年10月3日

各位

株式会社りそな銀行

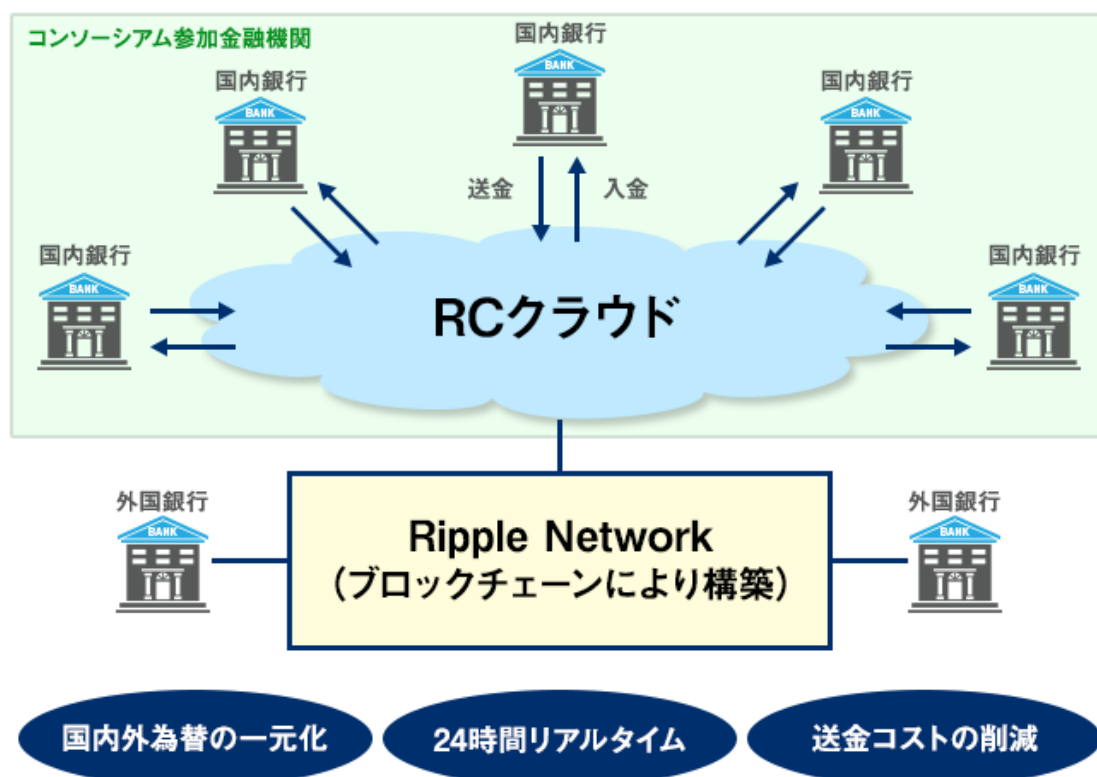
ブロックチェーン技術を活用した新たな国内外送金業務の検討について
～「国内外為替の一元化検討に関するコンソーシアム」への参加～

りそなグループのりそな銀行(社長 東 和浩)は、SBIホールディングス株式会社及びSBI Ripple Asia株式会社が事務局を務める「国内外為替の一元化検討に関するコンソーシアム」の発足メンバーとして参加することで、合意いたしました。

本コンソーシアムでは、ブロックチェーン技術の活用により、国内外の送金を一元的に扱えるシステムの構築を検討いたします。これにより、従来の全銀システムでの国内送金やSWIFTによる海外送金では対応しきれない新たなサービスの提供を目指します。

➤ 国内為替、海外送金システムを一元化し多様な送金・決済ニーズに対応

現在、りそなグループではグループ間24時間365日振込できるサービスを提供していますが、本コンソーシアムで検討するシステムの活用により、国内送金のみならず海外送金の24時間365日取扱が可能となります。また、送金コストを抑えることが可能となり、少額送金などのお客さまの多様なニーズへも柔軟に対応できることが見込まれます。



以上